

沖縄海岸国定公園の公園区域及び公園計画の変更案の概要

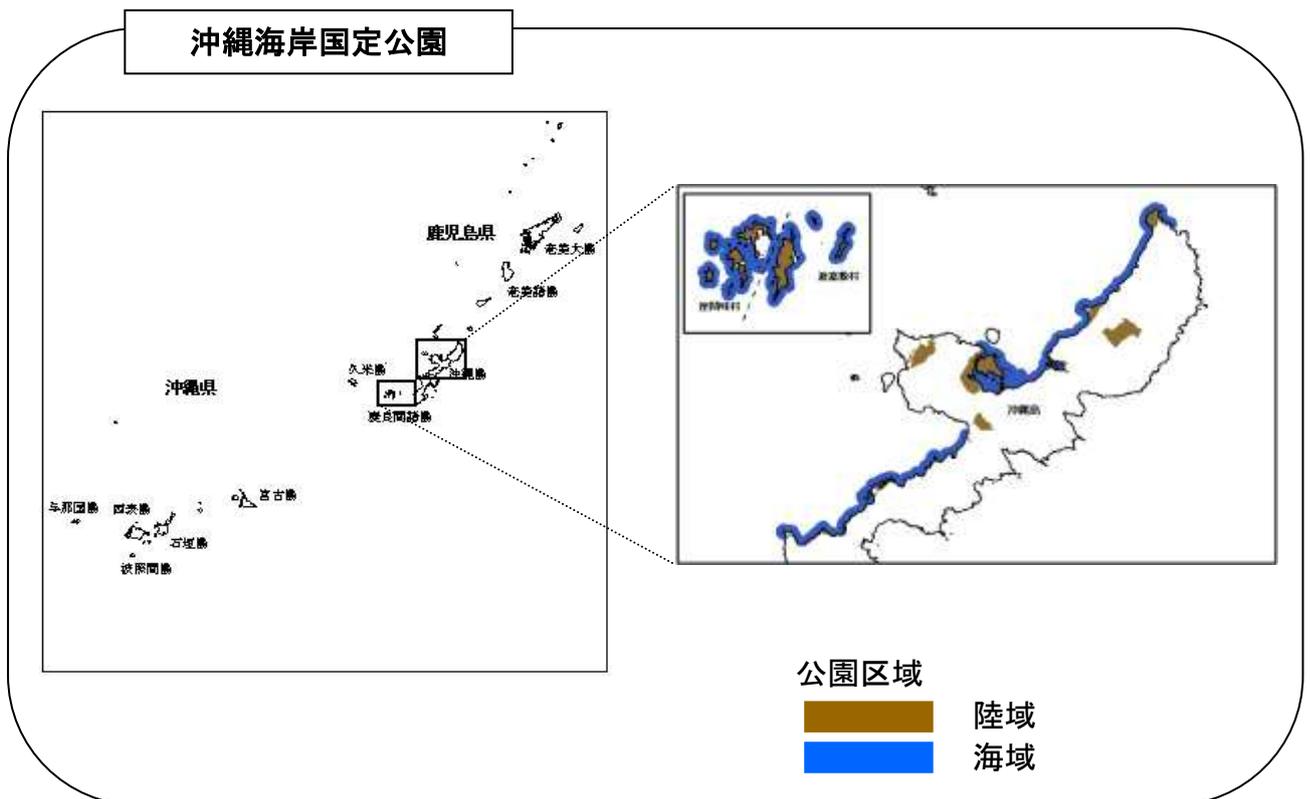
1. 変更理由

沖縄海岸国定公園は、沖縄諸島の中央に位置し、サンゴ礁に縁取られた海岸線と固有の生物相を持つ沖縄島北部地域の一部及び多島海の景色と海中の景観が美しい慶良間諸島から成り、亜熱帯地域の代表的な自然の風景地として国定公園に指定されました。

沖縄本島の地域については、昭和40年10月1日に琉球政府立公園に指定され、その後昭和47年5月15日沖縄の本土復帰に伴い国定公園となりました。その後、慶良間諸島地域が、島々と数多くの岩礁からなる島しょ群で、多島海景観、海中景観及び亜熱帯性動植物景観を有するため、昭和53年12月9日に沖縄海岸国定公園に編入されました。

今回の変更は、平成22年に実施された国立・国定公園総点検事業において、慶良間諸島地域が多島海景観と優れた海域景観、多様なサンゴが高密度に生息するサンゴ礁やザトウクジラの繁殖海域であることなど、沿岸から海域にかけての多様な生態系が評価されたことを踏まえ、本公園を次の通り、再編成することとしました。

- 慶良間諸島地域を、我が国を代表する傑出した自然の風景地として慶良間諸島国立公園に指定します。
- これに伴い、慶良間諸島地域に係る公園区域及び公園計画を削除します。



2. 変更案

- 慶良間諸島国立公園の指定に伴い、沖縄海岸国定公園の慶良間諸島地域に係る現行の公園区域及び公園計画を削除し、慶良間諸島国立公園に振り替えます。

(参考：公園面積)

変更前	変更後	面積の増減
沖縄海岸国定公園 36,459ha (陸域：10,286ha) (海域：26,173ha)	沖縄海岸国定公園 19,363ha (陸域：6,828ha) (海域：12,535ha)	- 17,096 ha (陸域：- 3,458 ha) (海域：-13,638 ha)
沖縄本島地域 19,363 ha (陸域：6,828 ha) (海域：12,535ha)	沖縄本島地域 19,363 ha (陸域：6,828 ha) (海域：12,535ha)	
慶良間諸島地域 17,096 ha (陸域：3,458ha) (海域：13,638ha)	慶良間諸島国立公園振替区域 17,096 ha (陸域：3,458ha) (海域：13,638ha)	